

令和2年度  
事業報告

社会福祉法人千曲市社会福祉協議会

# 令和2年度千曲市社会福祉協議会事業報告

## 1 令和2年度重点目標の取組みについて

### (1) 住民参加と協働による地域福祉活動の推進

第2次地域福祉活動計画の3つの目標をもとに、行政、区長会連合会、民生児童委員協議会、社会福祉団体、企業、ボランティア団体、社協支部等の地域団体・組織、市民との協力により計画を実施しました。また、市民の生活課題・福祉課題を解決するため、市民、団体、組織等と連携した事業・相談活動を行いながら地域福祉推進に努めました。

### (2) 地域の福祉ニーズに基づく先駆的な取り組み

今年度から生活支援体制整備事業の受託に伴い、生活支援コーディネーターを2か所に配置。支部社協の協力のもと、生活課題やニーズ調査を実施しました。調査結果を踏まえ高齢者等の外出困難者への買い物支援策等新たな事業を展開しました。

令和元年台風19号災害による被災宅のその後について、県社協の支援を受け、訪問調査を実施し、被災後における課題を見つけ、今後の支援の方向性を検討しました。

新型コロナウイルス感染拡大について、外出制限の中、一人暮らし高齢者の安否確認のための安心電話を実施し、孤立解消に向けた取り組みの工夫に努めました。失業、収入減による生活困難者への支援策としては、生活福祉資金の特例貸付を実施し困窮世帯への生活支援をしました。

### (3) ボランティア・市民活動交流センターの充実とボランティア活動及び福祉教育の推進

新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から、幾つかの事業が中止となる中、感染防止対策を十分に行ったうえで、事業規模の縮小、人数制限等の工夫をしながら出来る事業を行いました。

福祉教育では、新型コロナウイルス感染拡大防止対策として学校で放送設備を利用した福祉講話を行いました。

### (4) 総合的な福祉サービスの推進と介護保険事業の安定した経営

介護保険事業の安定した経営に努めましたが、通所介護・短期入所において新型コロナウイルス感染拡大を受け、利用者の利用控えがあり、利用者数が減少しました。

コロナ禍においても、国や県の補助金などを活用し、マスク、消毒液、透明アクリル板の購入や水道蛇口を自動水栓に改修するなど感染症対策を徹底して介護保険事業所を運営しました。

### (5) 地域で安心して生活できる環境づくりのための子育て支援事業の推進

未就学児と保護者を対象とした午前中の開館については、新型コロナウイルス感染拡大により、4月から5月は臨時休校に合わせて児童館・児童センターを休館とし、4月から9月までは子育て広場を中止しました。

放課後児童クラブは医療従事者等のために受け入れを継続しました。感染拡大防止のため、可能な範囲で利用の自粛依頼や小学校の施設を借りての児童の分散、開館時間前の児童の受け入れ、保護者からの相談窓口の設置など子育て環境づくりに努めました。

「児童館のための新型コロナウイルス感染症対策ガイドライン」に基づき各館ごとの具体的な対策を策定し、市からの補助も受けて、感染予防と児童の健全育成の両立に取り組みました。

#### (6) 社協基盤の強化と働き方改革等の制度への取り組み

社協財政基盤を強化するため、係長以上の会議を開催し、財政の現状報告や財政状況の改善に向け1人1以上提案の取り組みを行うとともに、経営コンサルタントからのアドバイスを受けながら、市と財政健全化に向け協議を行いました。

同一労働同一賃金については、社会労務士からアドバイスを受けながら制度について研究しました。

## 2 会務の運営

会務の運営は理事会及び評議員会に諮りながら推進し、監事による監査及び助言により適正に執行しました。

### (1) 理事会の開催

回	開催日	出席者数	主要議案
第1回	6月30日	10人	平成31年度事業報告の承認について 平成31年度資金収支決算の承認について 監査報告 定款の一部改正について 第1回評議員会の招集について 評議員候補者の推薦について <b>【報告事項】</b> 社協会長及び常務理事の職務の執行状況について 生活福祉資金（特例緊急小口資金）の貸付について ふれあい福祉センターの旧戸倉庁舎への移転について 指定管理の更新について
第2回	11月27日	10人	評議員候補者の推薦について 組織規程の一部改正について 処務規程の一部改正について 正規職員及び嘱託職員給与規程の一部改正について <b>【報告事項】</b> 社協会長及び常務理事の職務の執行状況について 指定管理の更新について 更埴デイサービスセンターの再開に向けた復旧状況について 新型コロナウイルス感染者への対応について 生活福祉資金（特例緊急小口資金）の貸付について ふれあい福祉センターの旧戸倉庁舎への移転について 令和2年度上半期事業報告について 令和2年度上半期資金収支状況について 監査報告
第3回	3月19日	10人	令和2年度資金収支第1次補正予算（案）について 令和3年度事業計画（案）について 令和3年度資金収支予算（案）について 定款の一部改正について 評議員候補者の推薦について 令和2年度第2回評議員会の招集及び議題について

## (2) 評議員会の開催

回	開催日	出席者数	主要議案
第1回	7月16日	17人	平成31年度事業報告の承認について 平成31年度資金収支決算の承認について 監査報告 理事の選任について 定款の一部改正について 【報告事項】 生活福祉資金（特例緊急小口資金）の貸付について ふれあい福祉センター旧戸倉庁舎への移転について 指定管理の更新について
第2回	3月25日 書面決議	19人	令和2年度資金収支第1次補正予算（案）について 令和3年度事業計画（案）について 令和3年度資金収支予算（案）について 定款の一部改正について ※3月27日開催予定を新型コロナウイルス感染拡大防止のため書面決議とした。

## (3) 評議員選任・解任委員会の開催

評議員選任のため開催しました。

回	開催日	委員	主要議案
第1回	7月7日	丸山正人（外部） 高松久男（監事） 唐澤正弘（事務局員）	次期評議員候補者推薦書による選任について
第2回	12月15日	同上	同上
第3回	3月19日	同上	同上

## (4) 外部監査の開催

決算監査に向けて外部税理士による監査を実施し、平成31年度財産目録、貸借対照表及び収支計算書等を精査し、助言を受けました。

区分	開催日	税理士	監査対象
決算 監査	5月25日	成澤会計事務所 成澤税理士	平成31年度財産目録 貸借対照表及び収支計算書

## (5) 監査会の開催

平成31年度事業報告書、財産目録、貸借対照表及び収支計算書等を監査の結果、いずれも処理は適正、かつ誤りがないことが認められました。

また、予算執行状況の監査の結果、財政状況は大変きびしい状況であるため、市からの運営補助金、受託金については財政健全化には欠かすことができないため、適正化に向け十分な協議に努めるよう意見の具申がありました。

区分	開催日	監事	監査対象
決算 監査	6月10日	高松久男 赤沼義敏	平成31年度決算監査 事業報告書、財産目録、貸借対照表及び収支計算書

#### (6) 正副会長会

当協議会運営の適正かつ効果的な執行を図るため、会長、副会長、事務局長及び課長との打ち合わせ会議を開催し、社協運営の基本方針・重要施策及び経営に関する事項等について協議しました。

回	開催日	主たる協議事項
第1回	5月19日	新型コロナウイルス関係（サービスの状況、予防対策） 令和2年度第1回理事会、評議員会について 令和2年度長野県共同募金会千曲市支会委員会について
第2回	8月25日	新型コロナウイルス関係（生活福祉資金特例緊急小口貸付の状況）について他 旧戸倉庁舎への移転について 指定管理の更新について（児童館・児童センター、戸倉上山田地域包括支援センター） ピュアハートちくま受託先移行について 評議員の選任について、第2回支部長会について
第3回	11月20日	中間監査、第3回支部長会、第2回理事会について
第4回	3月16日	第3回理事会、第2回評議員会について 退職者辞令交付式、令和3年度辞令交付式について

#### (7) 課長会議

社協の基本方針・重要施策等の適正かつ効果的な執行を図るため、事務局長及び課長、事業所長等で構成する課長会議を開催し、当面の課題について協議し、情報の共有に努めました。

回	開催日	主たる協議事項
第1回	7月9日	財政状況の改善に向けた取組について（1人1以上提案） 指定管理の更新と公募における課題等について
第2回	9月9日	新型コロナウイルス感染者の確認について 旧戸倉庁舎への移転について ピュアハートちくま受託先移行について 労務管理（年休の取扱い、健康診断）について
第3回	12月23日	新型コロナウイルス感染予防の注意喚起について 令和2年度上半期事業報告・資金収支状況について 令和3年度予算編成について
第4回	3月11日	更埴デイサービスセンター再開、令和2年度組織体制について 今後の日程について（理事会、評議員会、退職辞令交付式） 令和2年度人事異動内示について

(8) 各種団体による共催及び後援依頼

新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、行事等が中止・延期になったため、行事の共催・後援依頼は1件でした。

区分	依頼件数	決定件数	内 訳
共催	0 件	0 件	
後援	1 件	1 件	福祉体験講習会

(9) 広報・情報の提供(社協会費、共同募金配分金事業)

市民の皆さまに社協事業等の情報を提供するため広報誌「社協だより」を偶数月に発行し全戸配布しました。また、適時に社協ホームページやフェイスブックでイベントやお知らせ等社協事業を紹介しました。

(10) 第9回千曲市社会福祉大会(共同募金配分金事業)

新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から老人クラブ大会と合同で表彰のみ行いました。

開催日	場所	主な内容
11月9日	戸倉創造館 大ホール	社協会長表彰 被表彰者：12 個人・団体

### 3 社協会費納入事業

#### 社協会費納入状況

相談事業や移送自動車貸出事業等の地域福祉推進事業、支部社協事業、ボランティア・市民活動交流事業、法人運営等を実施する大切な財源となる会費を市民、法人に協力をお願いしました。

会費は、地域福祉の更なる充実を図るため、本年度から普通会費を900円から1,000円に改定しました。

#### 会費実績表

項目	年度	
	R2	H31 (R1)
普通会費	17,987 世帯 17,925,900 円	17,997 世帯 16,197,900 円
	加入率 81.0%	加入率 81.3%
	法人会費	622 社 1,652,500 円
賛助会費	488 人 492,000 円	514 人 536,000 円
特別会費	13 人 130,000 円	14 人 160,000 円
会費実績合計額	20,200,400 円	18,545,400 円

## 4 苦情解決システム

利用者やその家族、市民等から寄せられた苦情・意見等はその都度、担当課長や各事業所長が真摯に対応することにより解決を図っており、第三者の苦情解決委員に苦情（意見・要望）を解決していただく案件はありませんでした。

苦情の主な内容は、職員の接遇（態度）に関するものは「狭い道ですれ違いの際、バックするようにと威圧的な態度をされた。」、会費に関するものについては、「900円から1,000円になった理由を教えてください。」「領収書が切りづらい」等がありました。

苦情・意見等受付件数 (件)

年度 苦情・意見等の内容	R2	H31 (R1)
	職員の接遇（態度）に関するもの	3
提供しているサービスに関するもの	1	2
事故・被害・損害に関するもの	1	1
事業所運営等に関するもの	3	0
社協会費に関するもの	8	2
要望・意見	1	5
その他	0	1
合 計	17	15

## 5 人事・労務管理

### (1) 職員数

年度 区分	職員数の推移			構 成 比	
	R2	H31 (R1)	増減	R2	H31 (R1)
正規職員	32人	35人	△3人	19.5%	21.1%
非正規職員*	132人	131人	1人	80.5%	78.9%
合 計	164人	166人	△2人	100%	100%

\* 嘱託職員・臨時職員・パート職員等

### (2) 離職率

年度 区分	R2		H31 (R1)	
	退職者数	離職率	退職者数	離職率
正規職員	1人	0.6%	1人	0.6%
非正規職員	17人	10.4%	18人	10.8%
合 計	18人	11.0%	19人	11.4%

\*退職者数には定年退職者は含まない。

参考：全産業の平均離職率 15.6%、医療・福祉は、14.4%（令和元年雇用動向調査：厚労省）



### (3) 職員研修

働きやすい職場を構築するため毎年研修計画に沿い、職員研修を実施していますが、本年度は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、必要最低限の研修のみ開催しました。

このほか、長野県社会福祉協議会、長野県福祉人材研修センター等が実施する社外研修に、リモート等で随時、職員が参加し、職員の育成と能力開発を図りました。

法人主催研修会内容

対 象	研修内容	開催日	出席者数
新規採用職員	新規採用職員研修	4月1日	12人
全職員	メンタルヘルス研修 (アサーショントレーニング)	12月7日	全職員に 資料配布
管理職員	予算編成会議	12月23日	23人

## 6 千曲市民交流広場運営事業

千曲市ふれあい福祉センター管理運営状況

ボランティア団体、子育て団体、高齢者団体、障がい者団体など幅広く利用されています。しかし、本年度は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、利用制限や活動を控える団体が多く利用人数が減少しました。101会議室は千曲市ふれあい福祉センターが旧戸倉庁舎への移転するための準備室としたため貸館中止としました。

10月からは旧戸倉庁舎4階の会議室の貸館を行いました。

◎上山田

(人)

年度	部屋別利用者数	101 会議室	長寿館	調理実 習室	301 会議室	相談室	ボランテ ィアセン ター	合計
R2			1,052	0	133	11	0	1,196
H31 (R1)	848		2,639	213	910	171	329	5,110

◎旧戸倉庁舎

(人)

年度	部屋別利用者数	会議室 1	会議室 2	会議室 3	会議室 4	会議室 5	合計
R2	216	216	124	239	717	1,405	2,701

## 7 受託事業

千曲市からの委託を受け、各種社会福祉事業を推進しました。

### (1) 老人コミュニティセンター運営事業

老人コミュニティセンターは戸倉児童館・更級児童館・五加児童館に併設され、高齢者等のコミュニティづくりの推進に資するため、千曲市に居住する老人、福祉団体及びボランティアグループ等に貸館を行っています。

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、4月から5月は貸館を中止し、6月1日からは各部屋の利用定員を半分に制限し、マスク着用等の条件を付して貸館を再開しました。利用回数は前年同時期より70回減少（前年比49.3%）、利用人数は679人減少（前年比44.4%）となりました。

利用状況

年度	R2		H31 (R1)	
	利用人数	貸与回数	利用人数	貸与回数
戸倉老人コミ	350人	45回	687人	87回
更級老人コミ	183人	20回	234人	8回
五加老人コミ	9人	3回	300人	43回
合計	542人	68回	1,221人	138回

(2) 地域活動支援センター千曲市ピュアハートちくま運営事業

①利用状況

年度	R2	H31 (R1)
開所日数	122日	121日
登録者数（試験通所者を含む）	52人	38人
延べ利用者数	896人	796
平均利用者数	7.3人	6.6人
見学者数	0人	10人
相談件数	47件	16件

(R2年度は、4月1日～9月30日までの運営)

②地域別内訳 (人)

更埴	戸倉	上山田	合計
17	8	15	40

③男女内訳 (人)

男性	女性	合計
21	19	40

④年齢別内訳 (人)

年齢	利用者	男性	女性
10代	0	0	0
20代	5	3	2
30代	8	5	3
40代	14	7	7
50代	8	3	5
60代	4	3	1
70代	1	1	0
合計	40	22	18

⑤障がい別内訳\*重複有 (人)

障がい種別	人数
精神障がい者	38
知的障がい者	2
身体障がい者	1

【利用者の通所状況】

登録者 40 人の内訳は、ピュアハートのみ利用 18 人、チューリップの家との併用利用者 5 人、他施設（デイケア・作業所他）との併用利用者 5 人、試験通所者 12 人でした。

【委託事業の終了】

地域活動支援センター「ピュアハートちくま」が令和 2 年 10 月 1 日から他法人に移行することに伴い、利用者が安心して移行できるよう、移行先の施設見学、体験等を行いました。

(3) 地域包括支援センター（高齢者相談センター）運営事業

戸倉上山田地域包括支援センターと更埴川東地域包括支援センターにおいて、保健師（看護師）、主任介護支援専門員、社会福祉士が連携し、地域の高齢者に懇切丁寧な相談に努めました。また、要支援認定者の介護予防マネジメント業務を実施し、よりの確な福祉サービス利用支援に努めました。

相談受付延べ件数

①方法(手段)			②相談者内訳		
(件)			(人)		
地域 内訳	戸倉上山田	更埴川東	地域 内訳	戸倉上山田	更埴川東
電 話	2,610	2,336	家 族	1,030	911
来 所	354	367	本 人	1,041	1,437
訪 問	941	1,307	関係機関	1,772	1,563
F A X	5	16	協力員	92	69
メール	20	8	その他	53	90
その他	58	36	計	3,988	4,070
計	3,988	4,070			

③相談内容：介護保険、医療・疾病、予防プラン、生活住宅等

介護予防支援計画（プラン）作成者数 (人)

地域 項目	戸倉上山田	更埴川東
事業対象者	388	412
要支援 1	1,138	1,123
要支援 2	1,388	1,422
計	2,914	2,957

\* 「事業対象者」：要支援認定外の者で通所介護、訪問介護を利用している者

#### (4) 更埴地区老人大学・老人クラブ運営事業

##### ① 更埴地区老人大学

	R2 半期開校		R2 当初		H31 (R1)	
	学生数	講座回数	入学 予定者数	講座回数	学生数	講座回数
合 計	58 人	5 回	106 人	15 回	111 人	15 回

午前の部 13 講座（内、移動・野外各 1）、午後の部の創作実技 3 科目及び入学式・卒業式等の年間学習計画を作成し、106 名の学生が入学する予定でしたが、新型コロナウイルスの影響により、4 月から 9 月にかけての入学式・各講座を全て中止しました。

6 月にアンケート調査を実施し、10 月以降に感染予防策を徹底した上で午前の講義のみ実施する半期開校案を提案したところ、58 名の参加希望があり、5 回の講座を実施しました。

##### ② 老人クラブ運営事業

	R2		H31 (R1)	
	単老数	会員数	単老数	会員数
合 計	44	2,679 人	47	3,017 人

高齢者人口が年々増加するなか、老人クラブの会員は減少傾向の一途であり、全国的に会員増強運動を進めているにも係わらず、本年度の単位老人クラブ数は前年より 3 クラブ減の 44 クラブ、会員数は 338 名減の 2,679 名となりました。

今年度は、新型コロナウイルスの影響により、代議員会は書面決議を行い、5 月の健康ウォーキング、9 月の健康フェスティバル等の事業は中止しました。理事会は予定通り 5 回開催し、事業の進め方や感染症対策について協議を行いました。単位クラブの活動も同様に延期・中止などを余儀なくされましたが、参加人数を縮小するなどの感染予防を講じながら継続・再開をしました。7 月に新型コロナ緊急対策単位クラブ活動支援事業として、各クラブに会員数のマスクを配布しました。

#### (5) 家族介護者交流事業

在宅介護者の交流や心身のリフレッシュを図るため社協 11 支部で実施でしたが、新型コロナウイルス感染防止の為、全て中止しました。

#### (6) 生活困窮者自立相談支援事業（まいさぼ千曲）

市の委託を受け、生活困窮者の自立の促進を図ることを目的として、生活困窮者からの多様な複合的な課題についての相談に応じ、情報提供、助言、計画の作成、認定就労訓練事業の斡旋の支援を実施しました。

- ・新規相談者数 505 人
- ・相談支援件数 1,076 件

新規相談者の年齢別内訳

(人)

	10代	20代	30代	40代	50代	60代～64	65以上	年齢不明	合計
男	4	12	29	29	47	16	32	62	231
女	1	11	31	42	63	15	36	69	268
計	5	23	60	71	110	31	68	131	499

【主な支援内容】

- ・支援計画作成件数 40件
- ・就職件数 16件
- ・生活保護申請 8件
- ・住宅確保給付金 118件
- ・家計改善支援 234件

(7) 成年後見制度普及啓発等推進事業

判断能力が十分でない認知症高齢者、知的障がい者及び精神障がい者が住み慣れた地域で安心して生活を継続できるよう、その権利を擁護するため成年後見制度の普及啓発の推進を図りました。

① 相談件数

- ・新規32件 ・延相談件数181件

② 対象者別

- ・認知症高齢者85件 ・知的障がい者37件 ・精神障がい者21件
- ・その他（意識障がい等）38件

③ 相談内容

- ・制度説明40件 ・申立手続き支援237件 ・後見候補調整53件
- ・申立て費用の説明33件 ・状況調査615件 ・身上監護8件
- ・財産管理の相談7件 ・制度の必要性の相談56件 ・後見人等支援27件
- ・その他194件

④ 福祉サービス利用援助事業運営委員会（委員8人） 年3回開催

（7月2日、11月19日、2月25日）

## 8 地域福祉推進事業

### (1) 連絡会議等の開催・参加

#### ①社協支部長会の開催

支部活動の活性化に向け、地域福祉の現状や福祉課題等について社協 11 支部長による会議を開催しました。

開催日	主な内容
6月3日	支部長会正副会長の選任、社協理事の選任等について
8月31日	会費の納入、社協支部活動報告・課題等について
1月29日	共同募金運動の実施、家族介護者交流事業等について

#### ②第69回長野県社会福祉大会

県内の福祉関係者が集い、先駆者への表彰を行うとともに、地域福祉の推進についてそれぞれの立場から考える貴重な機会となる大会ですが、新型コロナウイルス感染防止のため、オンライン開催となりました。

開催日	場所	主な内容
11月3日	安曇野市 安曇野スイス村 サンモリッツ	オンライン配信 トークセッション（知事と学生によるセッション 信州共生みらいアイデアコンテスト、介護技術コンテスト、福祉のお仕事インスタPR大賞

### (2) 地域福祉事業

#### ①ふれあい訪問事業（共同募金配分金事業）

75歳以上の一人暮らし高齢者、80歳以上の高齢者のみ世帯、障がい者のみ世帯等のお宅を訪問する活動を通じて、ふれあいの機会づくりと安否確認を行うことを目的に年6回（奇数月）実施しました。

対象者数内訳

(人)

種類	食事券	品物	合計
更埴	3,249	2,773	6,022
戸倉	986	1,365	2,351
上山田	1,078	331	1,409
合計	5,313	4,469	9,782

・配布協力：各地区の民生児童委員とボランティア

### (3) 生活支援、相談事業

#### ①心配ごと相談（会費事業）

市民の生活上の困りごと等について、相談員による心配ごと相談を開催しました。

- ・相談日開所回数：月1回、年12回（相談員6人が2人体制で交代で実施）
- ・相談会場：千曲市ふれあい福祉センター、千曲市人権センター
- ・相談対応時間：午後1時30分～4時（1人45分）
- ・心配ごと相談受付件数12件

・相談内容別件数 (件)

日常生活	家庭、家族	医療、介護	合計
5	5	2	12

- ・相談員 6 人（敬称略）

曾根 直好	中村 秀史
多羅澤 美恵子	山崎 和子
塚原 弘昭	山口 典子

- ・委員会の開催及び研修会

開催日	場所	主な内容
6月2日	千曲市ふれあい福祉センター	事業計画、研修会「傾聴の基本とコミュニケーション」講師：西澤聖長氏
3月17日	千曲市ふれあい福祉センター	事業報告、反省会、研修会 内容：「新型コロナ感染症に伴う生活福祉資金の特例貸付」講師：小金澤課長（地域支援課長）

## ②法律相談

市民の抱える法律上の問題について、司法書士による法律相談を開催する予定でしたが、4月2日に実施以降は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、電話相談窓口を随時開設（司法書士会）しました。

## ③社協窓口相談

市民の生活上の困りごと等の相談を社協職員が随時対応しました。

- ・相談件数：12 件
- ・主な相談内容：近隣の間人間関係、生活費、家族間のトラブル等

## ④結婚相談所(会費事業)

結婚を考える独身男女を対象に、相談員が成婚に向けたサポートを実施し、5 組成婚しました。

- ・相談日の開所回数：毎月 2 回、年 20 回（相談員 10 人が 2 人体制で交代で実施）
- ・相談会場：埴生公民館、戸倉創造館
- ・相談対応時間：午前 9 時～正午
- ・結婚相談員 10 人（敬称略）

山本 正勝	眞篠 いづみ
亘 亜紀子	相澤 美恵
荻原 恵美子	太田 美恵子
宮原 浜子	高橋 良子
白石 徳子	中村 美智江

- ・市内結婚相談員連絡会議 7 回（内 2 回坂城町合同）
- ・相談員研修：3月3日、ふれあい福祉センター 相談員 10 名参加  
講師：林 洋子氏（スタジオキャメル主宰）
- ・イベントは、新型コロナウイルスの影響により中止しました。

・相談活動状況(千曲市結婚相談所内)

区 分	男 性	女 性	合 計
新規登録者数	8 人	10 人	18 人
登録者数	46 人	23 人	69 人
平均年齢	41.9 歳	37.7 歳	39.8 歳
相談数	119 人	65 人	184 人
説明・申請書渡し	19 人	15 人	34 人
紹介希望者数	87 人	60 人	147 人

・紹介、見合い数(坂城町の結婚相談所登録者含む)

区 分	人 数
紹介数	147 人
見合い数	27 組

・成婚数 5 組

⑤日常生活自立支援事業(県社協受託事業)

高齢者、知的障がい者、精神障がい者等で判断能力が十分でない者を支援するため、5人の生活支援員により、生活費の払い出しや福祉サービスの相談への支援を行いました。

・契約状況内訳

(人)

対象区分 契約・解約状況	高齢者	知的障がい者	精神障がい者	合 計
契約者数	11	16	4	31
新規契約者数	2	0	0	2
解約者数	9	0	2	11

・相談援助件数

(件)

高齢者	知的障がい者	精神障がい者	合 計
1,577	1,988	772	4,337

⑥金銭管理・財産保全サービス(会費事業)

判断能力はあるが、身体的等の理由により預金の払戻しや財産管理が適切に処理できない身体障がい者、高齢者等を対象として通帳等を管理しました。

・対象者

(人)

対象区分 契約・解約状況	高齢者	身体障がい者	合 計
契約者数	0	3	3
新規契約者数	0	0	0
解約者数	0	0	0

・相談援助件数

(件)

高齢者	身体障がい者	合 計
0	114	114



⑦法人後見事業

認知症高齢者、知的障がい者及び精神障がい者等意思決定が困難な人の判断能力を補うため、社協（法人）が成年後見人等になることにより成年被後見人等の財産管理等を行い、その権利を擁護して自立した日常生活を維持できるよう支援をしました。

- ・受任件数7人（後見類型6人、保佐類型1人）（人）

後見	保佐	合計
7	3	10

認知症高齢者	知的障がい者	精神障がい者	合計
5	2	3	10

男性	女性	合計
5	5	10

- ・相談支援件数 143 件

財産管理	通帳管理、払戻し、不動産確認・調査、元帳等作成
身上監護	サービス利用確認、手帳更新、高額療養費等手続き、見守り

- ・福祉サービス利用援助及び成年後見支援事業運営委員会（8人 1回開催）

⑧善意銀行（地域福祉振興基金益金）

市民の善意に基づく物品や金品をお預かりし、必要に応じて生活困窮者、団体等へ提供しました。

【災害援護事業】

- ・住宅火災見舞 3 件
- ・預託物品 市民より物品の預託を受け生活困窮世帯へ配分しました。  
主な物品・・・米、非接触温度計、介護用品、フードドライブ等  
配分先・・・生活困窮者、障がい者施設、在宅介護者等

⑨寄付金・寄付物品

- ・寄付金 8人 計 2,075,692円（地域福祉振興基金）

⑩生活福祉資金貸付事業（県社協受託事業）

低所得者世帯、障がい者世帯、高齢者世帯の生活支援のため資金の貸し出しを行いました。

- ・生活福祉資金貸付内容

種類	件数・金額	件数	貸付金額
緊急小口資金		4件	400,000円
総合支援資金		4件	1,309,900円
教育支援資金		4件	3,480,000円
福祉資金		1件	720,000円
合計		13件	5,909,900円

・新型コロナウイルス特例生活福祉資金貸付

種類	件数・金額	件数	貸付金額
	緊急小口資金	414 件	68,610,000 円
	総合支援資金	335 件	170,550,000 円
	同延長	163 件	81,660,000 円
	再延長	83 件	43,830,000 円
	合計	995 件	364,650,000 円

⑪助けあい資金貸付事業（原資：社協助けあい資金基金、生活福祉資金の補完的事業）  
市内に居住する生活困窮者に対し応急援護のために 1 人 3 万円以内で貸し付けました。

・貸付内容

種類	件数・金額	件数	金額
	貸付金	13 件	246,700 円
	償還金	39 件	387,176 円

⑫資金貸付相談件数（社協の窓口、電話での相談受付件数）

・2,146 件

（4）福祉団体への活動支援

社協 11 支部については福祉活動事業の企画や協力、また、千曲市身体障害者福祉協会、千曲市遺族会については事務的支援や事業の調整を行いました。

（5）実習生の受け入れ

人材育成への協力として、福祉系大学等からの要請に応じ、社会福祉士資格の取得のための実習生を受け入れました。

・大学養成校からの受け入れ 3 人 180 時間（8 月～9 月の期間）

9 ボランティア事業（会費事業）

（1）ボランティア・市民活動交流センター運営

ボランティア活動の活性化や育成、また、相談に応じ、活動の紹介や市民への活動の意義の周知、各種団体との連携や調整を行い、誰もが等しく暮らしやすい地域の実現に向け各種事業に取り組みました。

①運営委員会の開催・・・開催数 2 回

開催日	場所	主な内容
7 月 26 日	千曲市ふれあい福祉センター	令和 2 年度事業計画について 福祉活動事業助成金について
3 月 16 日	〃	令和 2 年度事業報告について 令和 3 年度共同募金「福祉活動助成金」について 審査会

②機材の管理・貸出

プロジェクター、スクリーン、DVD再生機、点字器、サロン用品他

③ボランティア登録者

男性724人 女性2,474人 計3,198人 (133団体、個人)

④ボランティア保険加入数 (人)

保険の種類		加入者数
活動保険	活動A・B、天災Aプラン	1,096
行事用保険	行事A・Cプラン	2,675
総合補償	福祉サービス総合補償A・B・Cプラン	2,407

⑤相談連絡調整延数 577人

(2) 交流、活動の促進

①第10回千曲市ふれあい広場

・日時：8月25日(日) 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

②長野ブロック事業

・長野ブロックボランティア交流事業

9月10日 担当者研修会 会場：飯縄町社協 メーラプラザ

(3) 情報提供

市内の各種団体の活動紹介、先駆的取組みの紹介、各種イベントの募集等、市内外のボランティアについての情報を発信しました。

・全戸配布：社協だより(年6回)、ボランティア情報誌かけはしちくま

その他：支部情報誌、社協ホームページ、フェイスブック、屋代有線、信毎新聞等

(4) ボランティア養成講座等

市民の要請や希望に応じ、ボランティア活動を実施するための機会として講座を開設しました。また、福祉教育の一環として子どもから高齢者まで、生涯にわたり人が人を支えるという活動の目的達成に向け各種活動を実施しました。

① 木工福祉ボランティア養成講座

・3回シリーズ 戸倉創造館、上山田児童館 参加者22人

② 福祉施設ボランティア体験(サマーチャレンジボランティアINちくま)

・中止(新型コロナウイルス感染防止のため)

③ いきいきサロンリーダー研修(内容「やってみよう!スポレクプログラム」ボッチャ)

・9月3日 戸倉創造館 参加者48人

④ 千曲市総合防災訓練参加(災害ボランティアセンター設置訓練)

・9月6日 屋代小学校 中止(新型コロナウイルス感染防止のため)

⑤ 千曲市災害ボランティアセンター講習会

・8月19日 戸倉創造館 参加者64人

⑥ 珈琲福祉ボランティア入門講座 2月～3月まで 参加者15人

(5) 福祉教育の推進

市内17校へ、学校での福祉教育活動の推進の協力依頼をし、資料を送付しました。

① 10月22日 戸上中学校で福祉教育講話の実施

② 11月25日、27日 屋代高校附属中学校で車いす体験学習の実施

## (6) 地域支え合い事業 “つなぐ”

ひとり暮らし高齢者、高齢者世帯、障がい者のみ世帯の方（つなぐ会員）の困りごと（ゴミ捨て、買い物、家事援助等）に、支援できる者を登録（助っ人会員）し、その困りごとの支援をする地域支え合い事業 “つなぐ” を実施しました。その際の対価として地域通貨券「ちくま券」（20分200円の対価）を発行しました。

つなぐ事業会員数

つなぐ会員		助っ人会員		協力店舗数
利用者	146人	支援者	136人	109店舗

## 10 特定相談支援事業（社協相談支援事業所）

障がい者の自立した生活を支えるため、抱える課題の相談や解決を図り、また、適切な福祉サービスの利用に向けた計画を作成しました。

### (1) 相談支援実績

#### ①契約者12人

・相談支援の利用者延人数（基本相談者数と計画相談者数の合計）（人）

障がい者				合計
精神	身体	知的	発達	
199	15	17	19	250

#### ③ 相談支援方法別延件数 (件)

支援方法	電話	来所	訪問	合計
相談件数	182	8	60	250

#### ③相談内容内訳件数 (件)

相談支援内容	件数
福祉サービスの利用に関する支援	236
障がいや病状の理解に関する支援	6
健康・医療に関する支援	5
不安の解消や情緒安定に関する支援	2
保育・教育に関する支援	1
家族関係や人間関係に関する支援	0
家計・経済に関する支援	0
生活技術に関する支援	0
就労に関する支援	0
社会参加、余暇活動に関する支援	0
合計	250

### (2) 関係機関との連携

・千曲・坂城地域自立支援協議会

相談支援部会 年2回開催、研修会等は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

## 11 赤い羽根共同募金配分金事業

### (1) 福祉活動団体活動助成(共同募金配分金事業)

赤い羽根共同募金運動による募金の配分金により、福祉団体やボランティア団体、また、学校等への福祉活動に対し、それぞれの活動の要請に応じ助成金を配分しました。

#### ・配分実績

種類	件数・金額	主な配分先団体	件数	配分金額
老人福祉活動		老人クラブ	1件	100,000円
障害児・者福祉活動		千曲市身体障害者福祉協会、千曲市聴覚障害者福祉協会、手をつなぐ育成会、ちくま手話サークル等	9件	346,000円
児童・青少年福祉活動		市内9小学校、5中学校、2高校、9児童館・児童センター	16件	520,000円
育成・援護・組織化活動		えんびつの会、園芸福祉ボランティア、傾聴ボランティア、認知症の人と家族の会等	36件	1,385,000円
母子・父子福祉活動		ひとり親あんず会	0件	0円
		合計	62件	2,351,000円

### (2) ふれあい活動助成(いきいきサロン、子育てサロンへの助成)

#### ・配分実績

種類	件数・金額	主な配分先団体	件数	配分金額
育成・援護・組織化活動		いきいき・子育てサロン	52件	543,200円

・サロン登録 102 団体（高齢者関係 85 団体、子育て支援関係 17 団体）

### (3) 災害援護金の支給(令和元年台風19号による被災世帯への支給)

長野県共同募金会災害援護金を千曲市災害義援金、社協支部災害見舞金と一緒に罹災証明書が交付された被害区分が「半壊」・「一部損壊」の世帯に支給しました。

#### ・配分実績

種類	件数・金額	金額	件数	配分金額
災害援護金		5,000円/世帯	970件	4,850,000円

## 12 児童館・児童センター管理運営

市内9ヶ所の児童館・児童センターについて市から5年間の指定管理（H28年度～R2年度）を受け「児童に健全な遊びを与え、健康を増進し、情操を豊かにする」ことを目的に多くの行事、催し物を企画・実施しました。

### (1) 児童館・児童センター利用状況

就労支援の放課後児童健全育成事業である児童クラブ（登録）は、共働き家庭の増加により、近年増加傾向にあります。しかし、令和2年度の登録児童の延べ利用数は、昨年度と比べ1,278人減少しました。これは新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、令和2年3月2日からの小学校の臨時休校に引き続き、4月10日から5月30日まで臨時休校となったことによるものと考えられます。その間、児童クラブは医療従事者等の生活に必要な仕事に従事している保護者のために受け入れを継続しましたが、感染拡大防止の趣旨に鑑み可能な範囲で利用自粛を依頼しました。その結果、利用児童数が50～60%減少しています。同様の理由で、一時的に利用できる児童の延べ利用数が前年度から1,639人の減少、一般利用児童も前年度から298人減少しました。休校解除の6月以降は、前年度より利用児童が増加の傾向にあり、8館中5館で一日平均利用人数が増えました。感染症対策を徹底して学童保育を実施しており、保護者の理解が得られました。

なお、屋代児童センターでは、今年度から小学校の余裕教室を利用して3年生の放課後児童クラブを開始しました。

児童クラブ及び一般利用状況

(人)

児童館名	児童クラブ（登録）		児童クラブ（一時）		一般利用	
	延べ利用児童数	1日平均利用人数 (土日祝除く)	延べ利用児童数	1日平均利用人数	延べ利用児童数	1日平均利用人数
埴生児童センター	18,149	74.3	738	2.5	6	0.0
稲荷山児童センター	13,346	54.5	314	1.1	0	0.0
屋代児童センター (分室)	10,683 (2,164)	43.8 (9.0)	603 (165)	2.0 (0.6)	15 (0)	0.1 (0)
八幡児童センター	10,850	44.2	948	3.3	0	0.0
東部児童センター	12,540	51.0	909	3.1	0	0.0
戸倉児童館	9,193	37.9	374	1.3	0	0.0
更級児童館	4,117	16.8	654	2.3	41	1.0
五加児童館	12,162	50.0	1,238	4.2	8	0.0
上山田児童館					2,063	7.1
合計	93,204		5,943		2,133	

## (2) 子育て支援利用状況

子育て支援として、主に未就学児と保護者を対象に午前中の開館や行事等を予定していましたが、今年度は、新型コロナウイルス感染防止に伴う小学校の臨時休校のため、上山田児童館を除く8館では、4月10日から5月30日まで一日開館となり、未就学児等の受け入れができませんでした。さらに、各館で予定していた5月、7月、9月の「子育てひろば」も中止とし、延べ利用保護者・乳幼児数は昨年度より約1,000人減少しました。

新型コロナウイルス感染防止対策を徹底しながら、地域のボランティアの方々と協働で事業の実施に努めました。

利用状況

(人)

児童館名	子育て支援利用者数	延べ利用保護者・乳幼児数	1日平均利用人数
埴生児童センター		88	0.5
稲荷山児童センター		6	0.0
屋代児童センター		151	0.8
八幡児童センター		38	0.2
東部児童センター		48	0.3
戸倉児童館		27	0.2
更級児童館		192	1.0
五加児童館		44	0.3
上山田児童館		1,046	3.5
合 計		1,640	

## 13 介護保険事業

新型コロナウイルス感染防止に努めながら、居宅介護支援事業をはじめ訪問介護、通所介護、訪問入浴事業及び地域密着型である認知症対応型通所介護、短期入所事業を運営しました。

介護保険収入は、特に通所介護・短期入所において新型コロナウイルス感染拡大を受け、利用者の利用控えがあり、前年度より減収となりました。

### ■介護保険指定事業所一覧

事業所名	種別
社協 居宅介護支援事業所	居宅支援
社協ヘルパーステーション	訪問介護
更埴デイサービスセンター	通所介護
稲荷山デイサービスセンター	通所介護
戸上デイサービスセンター	通所介護
戸上デイサービス（認知対応型）	通所介護
戸上デイサービス（緩和型）	通所介護
戸倉短期入所事業所	短期入所
戸上訪問入浴ステーション	訪問入浴

### ■介護保険収入推移 (単位：千円)

年 度	R2	H31 (R1)
介護保険収入	281,347	321,290

### (1) 居宅介護支援事業

介護サービスを受ける際に必要となる支援計画（ケアプラン）並びに介護予防支援計画の作成を行いました。介護全般に関する相談をはじめ、利用者の要望に沿ったサービスを提案し、必要な機関や介護サービス事業者との連絡・調整を行いました。

令和2年4月から戸倉上山田居宅介護支援事業所を廃止して社協居宅介護支援事業所に統合し、2名のケアマネジャーを新設の更埴川東地域包括支援センターへ異動しましたので、支援計画作成件数は減少しました。

#### ①社協居宅介護支援事業所

- ・開設日数：243日（年末年始、祝日を除く、月～金曜日）
- ・平均作成件数：235件／月（前年度277件）
- ・ケアマネジャー1人あたり件数／月：29.4件（前年度29.1件）

#### ■支援計画（ケアプラン）作成件数（介護度別） (件)

区 分	R2	H31 (R1)
介護予防・要支援	216	408
要介護(1～5)	2,611	2,919
合 計	2,827	3,317



## (2) 訪問介護事業

介護が必要な高齢者に対し、自立した日常生活が送れるよう入浴や排せつ介助等の身体介護や炊事や洗濯、清掃等の生活援助など、身体の状況に応じたサービスを提供しました。

利用者数・延べ利用回数とも減少し、介護報酬収入も減収しました。

### ①社協ヘルパーステーション

- ・開設日数：365日
- ・1日平均利用回数：25.3回（前年度29.9回）
- ・平均介護度：2.8（前年度2.5）

#### ■実利用者数（介護度別） (人)

区 分	R2	H31 (R1)
要支援 (要対象者等含む)	173	258
要介護(1~5)	481	503
合 計	654	761

#### ■サービス別延べ利用回数 (回)

区 分	R2	H31 (R1)
介護予防 (生活支援総合事業含む)	836	1,227
身体介護	8,035	8,826
身体生活	20	108
生活援助	356	796
合 計	9,247	10,957

## (3) 障がい者訪問介護事業（自立支援事業）

ヘルパーが障がいのある方のお宅へ訪問し、家事の援助や身体介護サービス、外出時の支援を行いました。

新規受入れPRを行いました。延べ利用人数・回数が減少しました。

#### ■延べ利用人数

区 分	R2	H31 (R1)
延べ利用人数	165人	187人
延べ利用回数	863回	1,062回

#### ■サービス内容別延べ利用回数 (回)

区 分	R2	H31 (R1)
身体介助	84	97
同行援護	116	203
通院介助	11	5
家事援助	652	757
計	863	1,062

#### (4) 通所介護事業

虚弱な高齢者、寝たきりの高齢者に対し食事、入浴、機能訓練などのサービスを提供し、社会的孤立感の解消や心身機能の維持向上を図るとともに、家族の身体的、精神的な負担軽減に心がけ、事業を展開しました。

地域に必要とされる、特色あるデイサービスセンターとなるよう努めましたが、新型コロナウイルス感染症の影響による利用控えのため、介護報酬が減収しました。

被災し休止していた更埴デイサービスセンターは、令和3年3月29日から再開しました。

##### ■実利用者数及び延べ利用人数推移（事業所別） (人)

事業所名	R2		H31 (R1)	
	実利用者数	延利用人数	実利用者数	延利用人数
更 埴	50	74	451	4,090
稲荷山	747	7,024	625	5,900
戸 上	1,152	8,976	1,271	10,006
〃（認知対応型）	213	1,962	235	2,236
〃（緩和型）	148	692		
合計	2,310	18,728	2,582	22,232

##### ① 更埴デイサービスセンター（定員35人/日）

- ・開設日数：3日（令和3年3月29日～31日）
- ・1日平均利用者数：24.6人（前年度24.2人）
- ・稼働率：70.4%（前年度80.6%）

##### ■実利用者数及び延べ利用人数推移（介護度別） (人)

区分	R2		H31 (R1)	
	実利用者数	延利用人数	実利用者数	延利用人数
要支援（事業対象者等含む）	12	13	86	540
要介護	38	61	365	3,550
合計	50	74	451	4,090

##### ② 稲荷山デイサービスセンター（定員35人/日）

- ・開設日数：307日（令和3年3月29日～31日）
- ・1日平均利用者数：22.8人（前年度19.0人）
- ・稼働率：65.0%（前年度63.3%）
- ・平均介護度：2.0（前年度2.2） 中重度割合34%（前年度37%）

##### ■実利用者数及び延べ利用人数推移（介護度別） (人)

区分	R2		H31 (R1)	
	実利用者数	延利用人数	実利用者数	延利用人数
要支援（事業対象者等含む）	173	1,078	136	887
要介護	574	5,946	489	5,013
合計	747	7,024	625	5,900

③戸上デイサービスセンター（定員 40 人／日）

- ・開設日数：310日（年末年始を除く、月～土曜日）
- ・1日平均利用者数：28.9人（前年度32.2人）
- ・稼働率：72.3%（前年度80.5%）
- ・平均介護度：1.8（前年度1.8） 中重度割合24%（前年度19%）

■実利用者数及び延べ利用人数推移（介護度別） (人)

区分	R2		H31 (R1)	
	実利用者数	延利用人数	実利用者数	延利用人数
要支援（事業対象者等含む）	221	1,201	315	1,742
要介護	931	7,775	956	8,264
合計	1,152	8,976	1,271	10,006

④戸上デイサービスセンター認知対応型（定員 9 人／日） 【地域密着型事業所】

- ・開設日数：310日（年末年始を除く、月～土曜日）
- ・1日平均利用者数：6.3人（前年度7.2人）
- ・稼働率：70.3%（前年度80.0%）
- ・平均介護度：2.2（前年度2.2） 中重度割合33%（前年度31%）

■実利用者数及び延べ利用人数推移（介護度別） (人)

区分	R2		H31 (R1)	
	実利用者数	延利用人数	実利用者数	延利用人数
要支援（事業対象者等含む）	0	0	0	0
要介護	213	1,962	235	2,236
合計	213	1,962	235	2,236

⑤戸上デイサービスセンター緩和型（定員 15 人／日） 【地域密着型事業所】

- ・開設日数：310日（年末年始を除く、月～土曜日）
- ・1日平均利用者数：2.2人
- ・稼働率：14.8%

■実利用者数及び延べ利用人数推移（介護度別） (人)

区分	R2	
	実利用者数	延利用人数
事業対象者	31	134
要支援	117	558
合計	148	692

(5) 短期入所事業

虚弱な高齢者、寝たきりの高齢者等を対象に短期間、施設に宿泊し食事や入浴、機能訓練等、日常生活に必要なサービスを提供するとともに家族の身体的・精神的な負担軽減を心がけ事業を展開しました。

毎年稼働率 90%以上と安定していましたが、新型コロナウイルス感染拡大を受け、利用控えがあったため、前年度より延利用人数が減少しました。

①戸倉短期入所事業所（定員6人/日） 【地域密着型事業所】

- ・開設日数：365日
- ・1日平均利用者数：5.3人（前年度5.6人）
- ・稼働率：88.4%（前年度93.3%）
- ・平均介護度：2.3（前年度2.5） 中重度割合40%（前年度41%）

■実利用者数及び延べ利用人数推移（介護度別） (人)

区分	R2		H31 (R1)	
	実利用者数	延利用人数	実利用者数	延利用人数
要支援	14	47	16	59
要介護	269	1,891	275	2,000
合計	283	1,938	291	2,059

(6) 訪問入浴事業

自宅の浴槽で入浴が困難な高齢者に対し、移動入浴車での訪問入浴サービスを提供しました。

なお、介護度が高い利用者が多いため、入院・施設入所等で不安定な利用状況で、利用者が減少傾向ですが、ケアマネ事業所等を訪問し、空き情報等の情報提供や連携を深めるよう努めました。

①戸上訪問入浴ステーション

- ・開設日数：259日（年末年始を除く、月～金曜日）
- ・1日平均利用者数：3.6人（前年度5.6人）
- ・平均介護度：4.1（前年度3.9）

■実利用者数及び延べ利用人数推移（介護度別） (人)

区分	R2		H31 (R1)	
	実利用者数	延利用人数	実利用者数	延利用人数
要支援	0	0	6	22
要介護	197	950	282	1,441
合計	197	950	288	1,463

(7) 身体障がい者訪問入浴サービス事業（受託事業）

自宅浴槽で入浴が困難な身体障がい者に対して移動入浴車での訪問入浴サービスを提供しました。

■延べ利用人数 (人)

区分	R2	H31 (R1)
利用実人数	48	39
延べ利用人数	211	158

## 14 身体障がい者等支援事業

### (1) 身体障がい者デイサービス事業

戸上デイサービスセンターで実施しました。

年 度	R2	H31 (R1)
利用者数	1 人	1 人
延べ利用回数	4 7 回	5 0 回

### (2) 緊急短期保護事業

居家で寝たきり高齢者等を介護している者が介護できない状態（冠婚葬祭、疾病、事故等）になった場合に、当該高齢者を一時的に戸倉短期入所事業所で保護しました。

年 度	R2	H31 (R1)
利用者数	1 人	3 人
延べ利用日	4 日	7 日

### (3) 貸切温泉風呂事業

戸倉地域福祉センターの個室浴室（温泉引湯）を、身体に障がいがあり、かつ自宅や一般温泉施設等での入浴が困難な方に貸し出しました。

年 度	R2	H31 (R1)
利用者数	1 人	8 人
延べ利用回数	3 回	2 1 回

## 15 貸出事業

### (1) 車いす貸出し事業

高齢者、障がい者に対し一時的(短期間)に車いすを貸出しました。(回)

年 度	R2	H31 (R1)
貸出回数	2 1	1 2 4

### (2) 移送自動車（福祉車両）の貸出事業

高齢者、障がい者に対し通院等の外出支援のため、車いすまたは寝台（ストレッチャー付）のまま乗降可能な福祉車両を貸出しました。

#### ■登録者数と福祉車両延べ貸出回数の推移

年 度		R2	H31 (R1)
登録者数		6 6 人	9 3 人
福祉 車両	車いす乗降車両(軽)	2 8 6 回	4 6 1 回
	寝台(ストレッチャー付)車両	5 9 回	5 7 回
計		3 4 5 回	5 1 8 回

## 16 実習生等の受入れ

(人)

学校名等	人数	実習受入れ先
屋代中学校 2 学年 リモート職場体験学習	—	稲荷山デイサービスセンター
小中学校教員免許志願者に対する介護体験受入	7	稲荷山デイサービスセンター、戸上デイサービスセンター
計	7	

## 17 チューリップの家事業

障害者総合支援法に基づき、一般企業での就労が困難な障がい者を対象に、働く場を提供するとともに、一般就労等に向けた知識・能力の向上に必要な支援・訓練を行いました。

## (1) 事業実績

年度 項目	R2	H31(R1)
開所日数	241日	261日
登録実人員	18人	18人
通所延人数	3,476人	3,632人
1日平均通所者数	14.4人	13.9人
喫茶 開店日数	90日	107日
喫茶 来店者数	2,254人	2,830人
喫茶 売上	1,173,385円	1,510,072円
菓子 売上	4,142,527円	4,802,161円
自主製品等販売額	1,670,900円	1,345,689円
受託費	175,168円	474,292円

- ① 就労継続支援B型事業所 定員20名 (R2登録実人員18名、男10名、女8名)
- ② 職員8名 (うち、精神保健福祉士2名 介護福祉士1名)
- ③ 作業内容：受託(箱折り等)、自主製品製造販売、菓子製造販売、喫茶店営業

## (2) 就労事業による収入と利用者支援の実績

## ① 就労事業による収入

年度 項目	R2	H31(R1)
収入総額	7,161,980円	8,131,764円

## ② 工賃の支払い

年度 項目	R2	H31(R1)
工賃総額	3,261,200円	3,965,300円
一人当たり月平均工賃	14,824円	17,468円
時給換算	316円	289円

## (3) 一般就労への移行実績

女性1名 (市外企業に就職)

